

臨床メタデータリポジトリ（CMDR）による新しいメタデータ標準化

臨床試験では、「一貫性がない、信頼できない、時代遅れのメタデータ」といった課題に直面しがちです。この問題はプロジェクトの遅延やコスト増につながるリスクがあります。臨床メタデータリポジトリ（CMDR）は、フォーム、用語集、データセット等のメタデータ資産を一元管理しながら信頼性の高いライブラリーとして機能し、メタデータの活用と再利用を可能にします。

この日本語ウェビナーでは、臨床メタデータリポジトリ（CMDR）の活用例を紹介しながら標準化の重要な役割について詳しく説明します。臨床データ管理の強化やメタデータの使用法の改善、データ品質の向上が、医薬品開発プロセスへどのような好影響を与えるかイメージ頂けると幸いです。

CMDR の導入を検討している方や現行のプロセスを最適化したい方など、皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時

2025年4月22日(火) 10:00 – 10:45

ウェビナー概要

- 取得したメタデータを活用と再利用のために標準化するには
- 最大限の効率性を実現するための標準的なガバナンスとメタデータの可視性
- 最新の CDISC 標準

対象者

- 日本で臨床試験、データ管理、データサイエンスに携わる方

講演者

- 藤田 理子（サターラ合同会社 ソリューションコンサルタント）

事前お申し込みフォーム

本ウェビナーの参加費は無料です。参加を希望される方は[こちらのウェブお申込フォーム](#)からご登録ください。

サターラについて

サターラは、モデリング&シミュレーション・ソフトウェアと技術を用いて、従来の創薬・開発を変革し、医薬品をよりスピーディーに患者さんに届けることをミッションとしています。世界 70 カ国にわたる 2,400 社のバイオ医薬品企業、主要学術機関、主要な規制当局がサターラのソフトウェアやコンサルティングサービスを利用しています。